



「投資信託の販売会社における 比較可能な共通KPI」について

2019年1月30日

確かな“きずな”を、未来へ。
株式会社京葉銀行

「投資信託の販売会社における比較可能な共通KPI」について

- ◆京葉銀行は、「お客さま本位の業務運営に関する取組方針」を策定・公表し、全役職員が本方針に則った業務運営に取り組むとともに、その取組状況を公表しております。
- ◆また、金融庁より公表されたお客さま本位の良質な金融商品・サービスを選択する上で比較可能な統一的指標（以下、「共通KPI」）を今回公表いたします。

「共通KPI」について

①運用損益別顧客比率

- ・投資信託を保有しているお客さまについて、基準日時点の保有投資信託に係る購入時以降の累積の運用損益（手数料控除後）を算出し、運用損益別にお客さまの比率を示した指標です。
- ・個々のお客さまが保有している投資信託について、基準日時点の損益状況を見ることができます。

②投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン

- ・設定後5年以上の投資信託の預かり残高上位20銘柄について、銘柄毎および預り残高加重平均のコストとリターンの関係を示した指標です。
- ・中長期的に、どのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたかを見ることができます。

③投資信託預り残高上位20銘柄のリスク・リターン

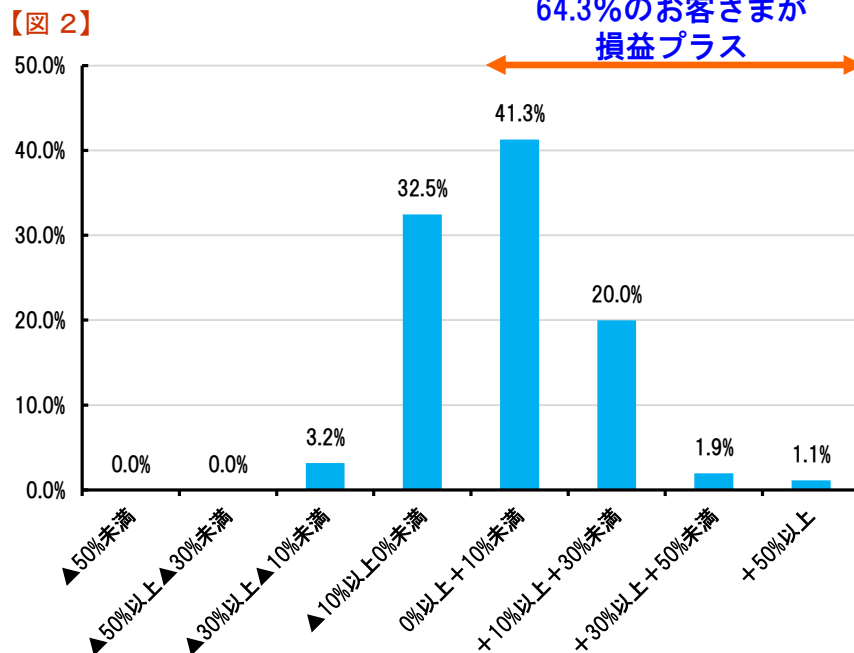
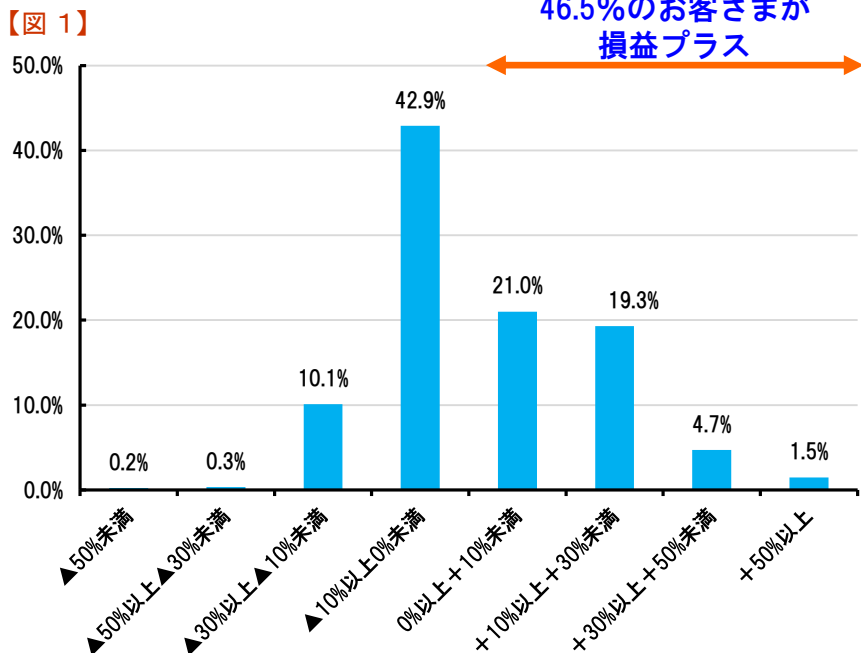
- ・設定後5年以上の投資信託の預かり残高上位20銘柄について、銘柄毎および預り残高加重平均のリスクとリターンの関係を示した指標です。
- ・中長期的に、どのようなリターン実績を持つ商品をお客さまに多く提供してきたかを見ることができます。

「運用損益別顧客比率」について（2018年3月末基準）

◆マーケットの影響もあり、2018年3月末時点で運用損益がプラスとなっているお客さまの割合は約46%【図1】となっておりますが、過去に保有していた投資信託の実現損益を含めると約64%【図2】のお客さまが運用損益がプラスとなっております。

投資信託運用損益別顧客比率【共通KPI】

実現損益含む投資信託運用損益別顧客比率



(2018年3月末時点)

※2018年3月末時点で投資信託残高を保有している個人のお客さまの比率。

※運用損益比率計算上の分母は、【図1】「時価評価額」、【図2】「累積投資金額」（売却・償還された投資信託含む）。

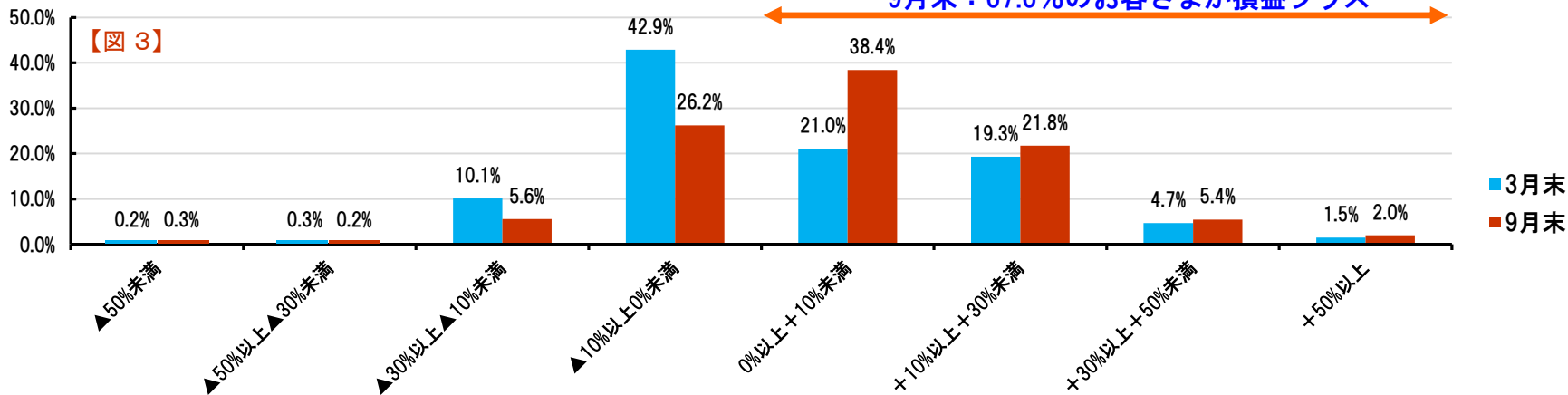
※【図2】1998年12月以降に売却または償還となった投資信託の実現損益にて算出。

<ご参考> 「運用損益別顧客比率」 (3月末と9月末の比較)



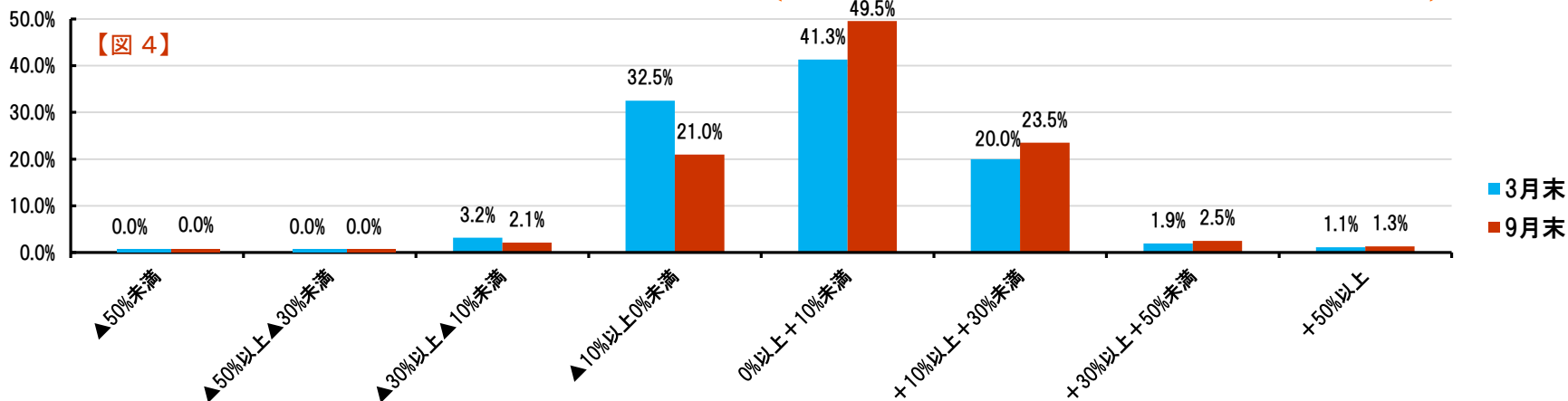
投資信託運用損益別顧客比率

3月末：46.5%のお客さまが損益プラス
9月末：67.6%のお客さまが損益プラス



実現損益含む投資信託運用損益別顧客比率

3月末：64.3%のお客さまが損益プラス
9月末：76.8%のお客さまが損益プラス

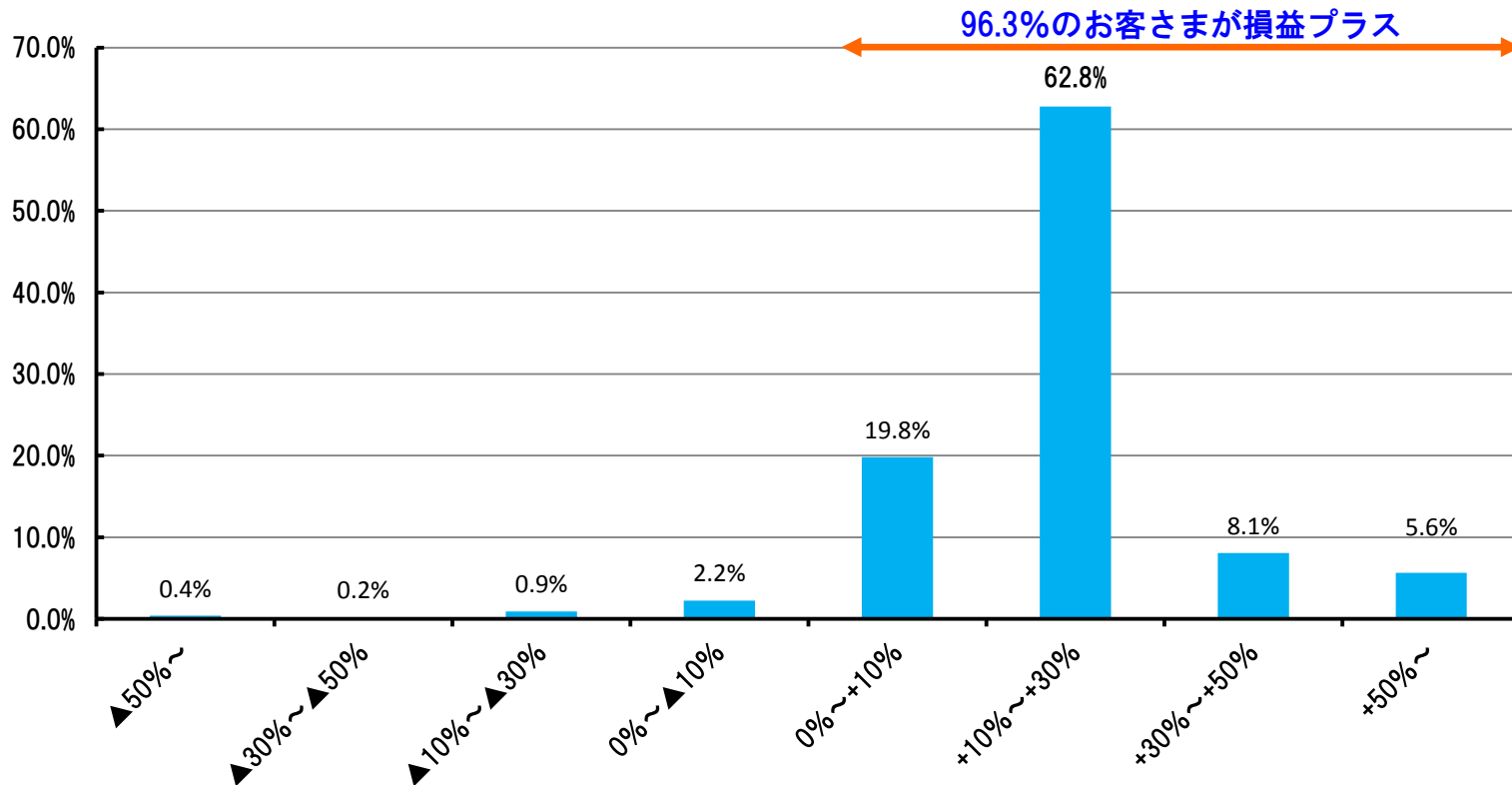


2018年9月末時点では、マーケットの上昇局面にあり運用損益がプラスとなっているお客さまの割合は約 67%【図3】となっております。また、過去に保有していた投資信託の実現損益を含めると約 76%【図4】のお客さまが運用損益がプラスとなっております。

<ご参考> 「運用損益別顧客比率」 (保有期間10年超)

◆2018年3月末時点で、当行で投資信託を保有いただいたお客さまのうち、保有期間が10年超の投資信託のみを対象に運用損益を算出した場合、約96%のお客さまがプラスとなっております。長期保有していただくことがお客さまの資産形成に大きなメリットとなる可能性があります。

投資信託運用損益別顧客比率 (保有期間10年超の投資信託のみ)

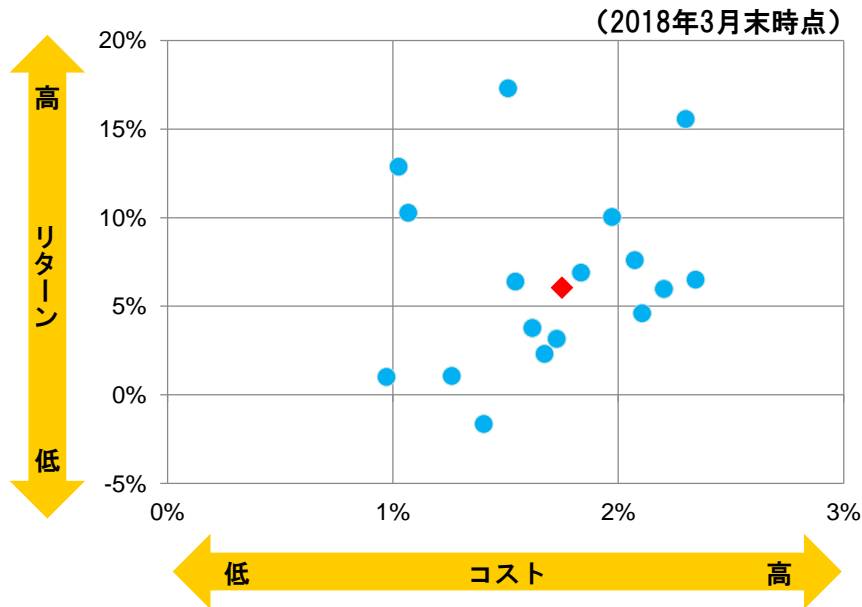


※1998年12月以降、お客さまが当行で保有もしくは保有していた投資信託のうち、保有期間10年超の投資信託のみを対象として運用損益を算出。

「投資信託預り残高上位20銘柄のコスト・リターン/リスク・リターン」

- ◆残高上位20銘柄の平均コストは1.75%、平均リスク12.52%に対し、平均リターンは6.05%となりました。
- ◆残高上位20銘柄は、リターンに対するコストが比較的低廉で、リスクとリターンのバランスがとれた投資信託が中心となっています。

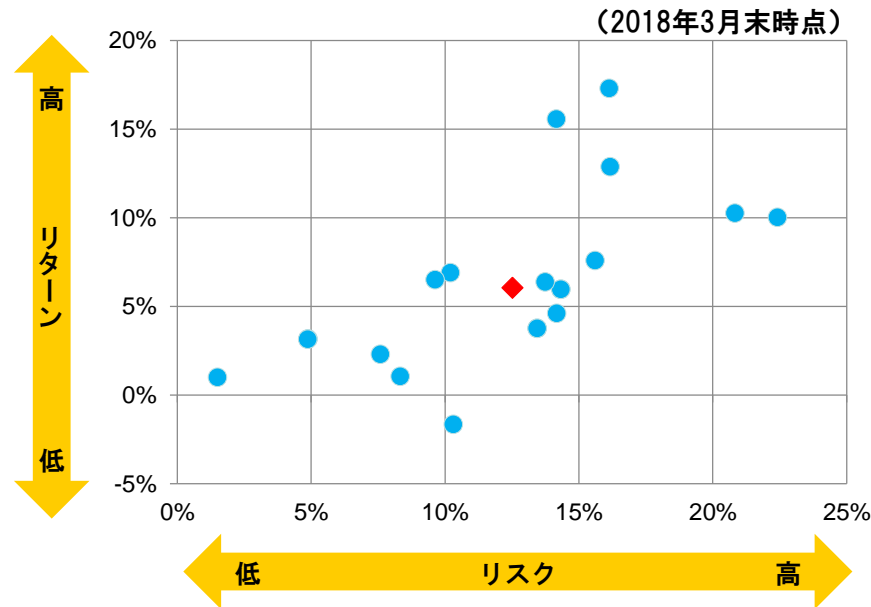
預り残高上位20銘柄のコスト・リターン 【共通KPI】



残高加重平均値 ◆	コスト	リターン
	1.75%	6.05%

※リターン：過去5年間のトータルリターン（年率換算）
 リスク：過去5年間の月次リターンの標準偏差（年率換算）
 コスト：販売手数料の1/5と信託報酬率の合計値

預り残高上位20銘柄のリスク・リターン 【共通KPI】



残高加重平均値 ◆	リスク	リターン
	12.52%	6.05%

※リターン・リスクとは・・・
 リターン：投資の結果得られる収益のこと
 リスク：リターンのふれ幅の大きさのこと
 一般的に大きなリターンが期待できる商品は、その分リスクも大きくなります。

「投資信託の預り残高上位20銘柄」

順位	ファンド名	順位	ファンド名
1	MHAMJ-REITアクティブオープン毎月決算コース「分配金受取コース」	11	アジア好利回りリート・ファンド「分配金受取コース」
2	野村インド債券ファンド「分配金受取コース」	12	ワールド・リート・オープン（毎月決算型）
3	ファイン・ブレンド（毎月分配型）	13	LM・グローバル・プラス（毎月分配型）「分配金受取コース」
4	MHAMJ-REITアクティブオープン（年1回決算コース）	14	エマージング・ソブリン・オープン（毎月決算型）
5	ダイワ・US-REIT・オープン（毎月決算型）Bコース	15	イーストスプリング・インド株式オープン
6	グローバル・ソブリン・オープン（毎月決算型）	16	トヨタグループ株式ファンド
7	高金利先進国債券オープン（毎月分配型）	17	フィデリティ・日本成長株・ファンド
8	MHAM株式インデックスファンド225	18	短期豪ドル債オープン（毎月分配型）
9	野村インド債券ファンド（年2回決算型）	19	ダイワ日本国債ファンド（毎月分配型）「分配金受取コース」
10	優良日本株ファンド	20	ファイン・ブレンド（資産成長型）

※2018年3月末時点で設定期間5年以上のファンドのみに限った投資信託の預り残高上位20銘柄。
 ※上記数値等はあくまで過去の実績であり、将来の運用損益をお約束するものではありません。

（2018年3月31日現在）